

## 15. 障害者のプール活動をサポート

おたまじゃくしの会

代表者 田井村 悦子

### ① 活動の目的

- ・障害者がプール活動を通して元気になり、前向きな生活をおくれるようになること。
- ・障害者も健常者であるボランティアも対等であることを意識し活動する。そして双方共に居心地の良い活動空間を作ること。

### ② 活動概要

- ・毎月1回の定例会（プール活動）を実施 年12回  
それぞれの状態によって、泳ぐ指導、リハビリのサポート、水との戯れ(幼児)等を行なう。
- ・障害者水泳競技会へ出場する選手をサポート  
千葉大会 5月28日（新習志野） 東京大会 7月3日（北区王子）
- ・27年9月 ボランティア勉強会、終了後親睦会
  1. 10歳未満の知的障害者が増えたことによる対応について
  2. 片マヒの人の介助の仕方（入水・退水時の怪我を予防する方法等）
- ・27年11月 障害者・ボランティアの合同親睦会
- ・28年9月 記録会を実施（参加障害者 45名 参加ボランティア 20名）  
記録会終了後反省会を行なう。その反省会で出た感想。  
障害者の声
  - ・記録会をすることによりモチベーションが上がる。
  - ・千葉大会よりもタイムが2秒速くなった。
  - ・定例会は全員の様子が見えないが、記録会では他のメンバーがどんなことをやっているか見ることができるので、仲間意識が高まると思う。。
- ボランティアの声
  - ・会員（障害者）の頑張っている姿をみて、元気をもらった。
  - ・リタイヤした後の人生の中で、このような非日常が味わえて感激した。  
これからも元気でいられる間は、このボランティアを続けたい。
  - ・自分も泳いでいるが、会員に負けられないと思った。

### ③ 決算報告書

決算報告 次ページへ詳細

収 入	大同生命厚生事業団助成金	100,000円
支 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プール使用料 (15,390円×12回)</li> <li>・プール施設管理者へ謝礼 (10回分 2回辞退)</li> <li>・障害者送迎謝礼(送迎担当者へ1回1,000円 延べ16回分)</li> <li>・競技会出場者付き添い時の交通費等実費 (2回分) (新習志野5名 東京王子5名 3,300×10人)</li> <li>・事務・通信費(毎月会報作成・メンバー74名に配布費用他)</li> <li>・会議費 (総会会場費、資料印刷70部、スポーツ飲料代)</li> <li>・ボランティア交通費(1回500円 12回延べ人数178人)</li> <li>・クリスマス菓子代 (子供会員のみ 12名)</li> <li>・親睦会一部負担(2回分 各自1,500円徴収後の不足分)</li> <li>・雑費 (個人負担スポーツ保険 会員死亡のため徴収不能)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>184,680円</li> <li>10,000</li> <li>16,000</li> <li>33,000</li> <li></li> <li>21,926</li> <li>12,660</li> <li>89,000</li> <li>6,220</li> <li>7,204</li> <li>1,000</li> </ul>
	合 計	381,690円

# 活動状況 1



2016. 5. 28 千葉県大会 新習志野プール



2016. 3. 12 地域ボランティアフェアで普及活動



2016. 9. 25 記録会（出番を待つ）

おたまじゃくしの会  
スローガン  
《水の中はバリアフリー》



2016. 9. 25 記録会（スタート台に）



2016. 9. 25 記録会  
（ボランティアに見守られ泳ぐ!）

## 活動状況 2

定例会（月1回のプール活動）



片マヒの人達のリハビリサポート



車椅子利用者入水



全体の様子（手前／フリーゾーン 奥／泳法等を指導）